

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
公民	公共	2	2年 情報ビジネス科 システム工学科	必履修	詳述公共 (実教出版)	

学習目標	<p>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価の 観点・規準	<p>「知識・技能」 教科書の内容を理解しているか、その背景にある文化を明確に読み取ろうとしている。 教科書や資料集等から情報を正確に読み取ろうとしている。</p> <p>「思考・判断・表現」 教科書や資料を通して、自分の考えや意見をまとめようとしている。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 積極的に授業に参加しようとしている。 科目に対して、自学自習などを行おうとしている。 グループ学習等に進んで取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<p>「知識・技能」 定期考査や小テスト等で正確に理解しているかを評価する。</p> <p>「思考・判断・表現」 グループ学習やディベートを通して自分の考え・意見を的確に表現することができるかを評価する。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 定期考査・小テスト・授業の質問・グループ学習の取り組み方を総合的に評価する。</p>

学期	学習計画および内容
1 学期	<p>第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 第2章 人間としてよく生きる 第3章 社会とは何か 第4章 民主国家における基本原理</p> <p>地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶとともに、古今東西の先人の取組、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論などや、公共的な空間における基本的原理を理解する。</p>
2 学期	<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 第2章 日本の政治機構と政治参加 第3章 現代の経済社会 第4章 経済活動のあり方と国民福祉</p> <p>自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、他者と協働して主題を追究したり解決したりする学習活動を通して、人間としての在り方生き方についての理解を深めつつ、法、政治及び経済などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を身に付ける。</p>
3 学期	<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第5章 国際政治の動向と課題 第6章 国際経済の動向と課題 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>持続可能な地域、国家・社会、及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現代の諸課題を探究する活動を通して、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述できるようにする。</p>

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<p>・公共は、理解を広げたり深めたりするために、時事問題を知っている必要があります。ニュースや新聞で今社会でおこっていることを常におさえるようにしてください。</p> <p>・3年次の選択「政治・経済」では、この講座の発展的な内容を扱います。</p>
---------------------------	--